

能満の歴史探訪

その3

能満地域にある史跡を知っていますか？



釈 蔵 院 (大 寺)

ふるれんネット・いちまる館でダウンロードできます

上総の国いちはらの歴史を知る会

(ふるさと市原をつなぐ連絡会会員)

旧称：能満の史跡を知る会

平成28年10月 編集・製作

釈 蔵 院

釈蔵院の沿革と歴史について

寺地を千葉県市原市能満582番地1とする「釈蔵院」は、西暦724年に創建された古刹です。その後、平城天皇のころ大同元年（808年）に真言宗の開祖でもある弘法大師空海によって伽藍を建て開創されました。延喜元年（901年）に醍醐天皇勅願寺となり、15万石の格式を持ち、また、上総の国の真言宗の根本道場として36ヶ寺を従え、徳川家康公の訪れたことが「高野山の西門院」の古文書にも記されている。



中、近世の資料では「上総国府中釈蔵院」として記載がある。釈蔵院の正式な名称は、山号を「法然山」院号を「釈蔵院」寺号を「傳燈寺」と記されています。地元の檀信徒は「大寺（おおでら）」と呼ばれています。また、「関東真言宗

新義本末寺帳」では、釈蔵院は醍醐寺三宝院末となっている。これは、法流本寺として三宝院の法灯をくんでいることを伝えるものです。当初は、豊山派に属していたが、近世は小本寺格であったと伝えられている。戦後は、豊山派から根来寺を本山と仰ぐ新義真言宗となっている。

境内には、昭和42年に再建された本堂と、昭和49年に旧薬師堂より移設された鐘楼、弘法師堂、山門、庫裏などが建てられている。旧本堂は、木造茅葺屋根の造りで建物自体も大きく、回廊の上には朱塗りの籠と黒塗りの籠などが保管されており、醍醐



境内に建てられている立看板

天皇の勅願寺としての風格を様していたが、昭和36年に焚火の火が風にあおられて本堂に延焼し、焼失をしてしまいました。その際に客殿や庫裏、護摩堂、文庫倉、念仏堂、長屋門なども焼失してしまいましたが、幸いにも太子堂と鐘楼（現納骨堂）は延焼を免れました。

本尊は、寺伝では享保14年（1729年）までは「両部大日如来」としていたが、以前に起きた地震の被害により大破した本堂を再建した際に「大聖不動明王」を本尊とし、元弘元年（1331年）第11代住職弘鑿僧正（こうばんそうじょう）により創作されたと記されている。

釈蔵院の歴代住職は初代を「空海」とするものと、「成賢」とするものの2点が残されている。その内の「釈蔵院中興法流歴代」では、「成賢」から始まり「盛明」までを記したものと、「釈蔵院法流歴代」では「空海」から始まり「盛明」までを記したもので、現在境内に建てられている碑は「釈蔵院法流歴代」です。現在は63代文聖です。（参考資料の



釈蔵院法流歴代



釈蔵院中興法流歴代

1)



積蔵院の末寺については、「関東真言宗新義本末寺帳」には観音寺、慈眼時の2箇寺を末寺として掲げられており、「寺院本末帳」(江戸幕府寺院本末帳)には、末寺に慈眼寺、円満寺、明光院、正光院、龍善院、福楽寺、千光寺の7箇寺の末寺が記されている。また、2003年の調査で発見された朱印状が発給された神王院も積蔵院の末寺と記されている。

積蔵院は、明治維新までは、府中日吉神社の別当寺となっていたが、明治政府による「神仏分離令」によりそれぞれが分離された。

(左の写真は、参道を抜け階段を昇ると、運慶快慶の像が怖い顔で迎

えてくれます。山門をぬけると急こう配の階段が待っています。)

積蔵院は、上総国市原郡八十八観音霊場の一番札所となっているが、これは天明2年(1782年)から関東以北が凶作に見舞われており、大飢饉が起きていた。この時、市原郡の積蔵院の第51代住職・栄寛(えいかん)は千光院住職・宥将(ゆうしょう)と明光院の住職・開演(かいえん)に呼び掛けて、弘法大師の950年遠忌の記念と、豊作の祈願・人心の救済を図るために、四国八十八か所を市原郡内北部の真言宗の各寺に移し、これに参詣すれば四国遍路と同じ功德が得られると布教した。そして、一番札所を積蔵院とした。現在では、廃寺や移転をしてしまったお寺も多くなっています。(参考資料を参照)

霊場巡りの目的は、色々な願い事を携えて巡る人もいれば、亡き人の冥福を願って巡礼をする人、人生の懺悔のためや、自分探し、癒し・リフレッシュを目的とした人など様々で、どのような目的でもよいようです。正式な服装は白装束で巡礼をするのですが、初めての方は普段着で気軽に始めても良いようです。

その他に、「新上総国三十三観音霊場」と「上総国薬師如来霊場」にもなっています。(参考資料参照)

「新上総国三十三観音霊場」とは、上総の国の三十三か所の観音菩薩を巡礼参拝するもので、江戸時代のころ西国観音霊場の写しが全国各地に設立され、積蔵院も上総の観音霊場もその一つになっていました。しかし、時代の流れとともに廃寺、統合された寺などがあり、「新上総国三十三観音霊場」が設けられた。

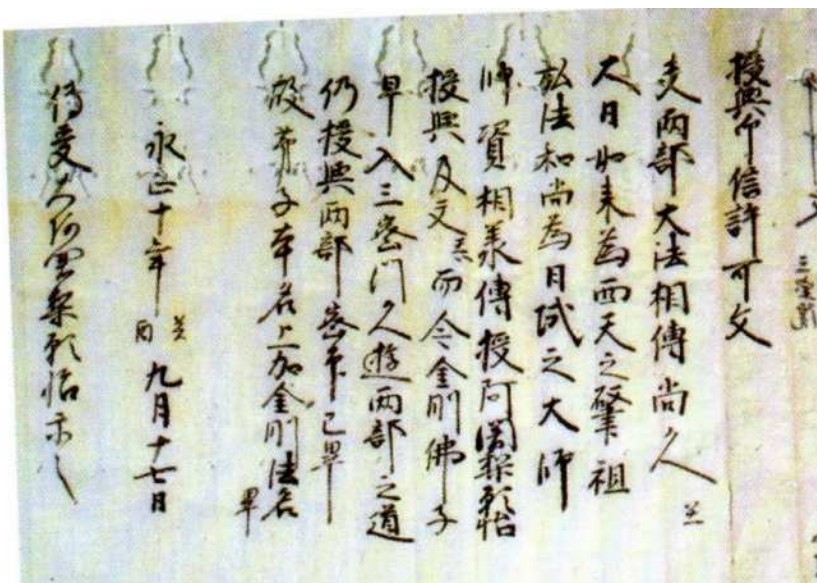


豪華絢爛の祭壇が飾られる本堂内部

「上総国薬師如来霊場」とは、上総の国のお薬師様を巡礼参拝するものです。薬師如来は、病気を治す仏様として有名ですが、それだけでなく十二の大願をたてて、日常にある諸々の苦から私たちを救い、願いを叶えてくれる仏様です。

積蔵院には本堂の他に弘法大師堂や鐘楼、山門庫裏などが建てられています。現在の本堂は前段で説明の通り、昭和36年に焼失しその後41年に再建されたものですが、鉄筋コンクリートで建てられております。本堂の中には、豪華な祭壇や

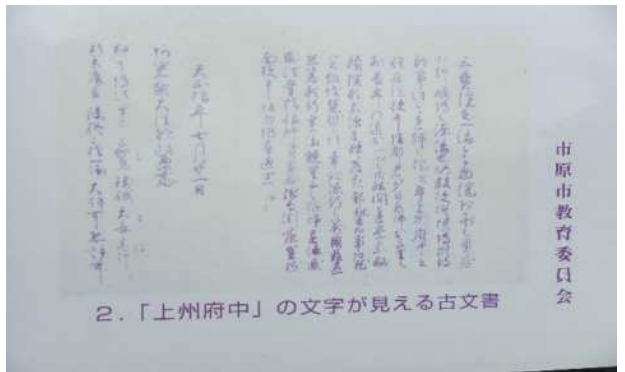
平成15年の調査で発見された古文書が飾られている。



高野山西門院で発見された古文書

積蔵院文書

「積蔵院文書」は、能満積蔵院に伝来する、戦国時代の永正10年（1513年）から明治元年（1868年）に至る208通の古文書と包み紙などからなり、の中には市内最古の古文書（市の指定文化財）をはじめ、102通もの中世文書が含まれています。これらの文書は、主に、新義真言宗の内部で、秘密の教えが師僧である阿闍梨（あじゃり）から弟子に正しく伝授されたことを証明する文書〈印信〉で、中世後期の西上総地方において真言密教が広まっていった様子を知る上で、歴史的、文化的価値が極めて高い物です。また、この文章によって、立野良道氏の能満国府説のよりどころとなった、《府中》を含む「府中積蔵院」という呼び名が、天正10年（1582年）まで溯ることが判明し、謎の上総国府や中世守護所の所在地を考える上でも重要な資料といわれています。



2. 「上州府中」の文字が見える古文書

これらの古文書は、平成15年に千葉大学佐藤博信教授による「高野山西門院文書」調査の中で「積蔵院快弁」の手紙に対する研究がきっかけで発見され、その全容が判明したものです。近年、このような大量の中世文書が発見されたのは、全国的にもまれなことです。その中には、徳川幕府より給付された朱印状などもありました。

また、近世寺院経営に関する資料も発見され、文政・文久年間の院室兼帯に関する資料が注目されています。

院室兼帯とは、新義真言宗の心院が、門跡寺院の院家・院室を兼務することによって、規定外の僧位への昇任、色衣着

用、乗輿、菊紋使用等の許しを得て、寺院の格の向上を図ることをいう。

文政8年（1825年）の盛雲の代には、宝篋心院（ほうきょうしんいん）を兼務し、文久3年（1863年）の盛空代でも同様の免状を得ています。

積蔵院の境内には、本堂の他に大師堂や鐘楼、山門、運慶快慶木造、市原観音像、子育て水子地藏尊などが設置されている。



天保年間に建立された大師堂

弘法大師堂は、天保13年（1842年）に近隣村民の信徒の浄財より建立されたもので、中には弘法大師像が安置されている。（普段は本堂内に安置されています）お堂の側面には、浄財寄付者の氏名と部落名が記されています。

鐘楼は、以前より能満公民館敷地内に薬師堂（昭和47年に火災によって焼失）が建てられていたが、昭和49年に移築されたもので、建立されたのは天保13年（1840年）と思われます。（府中日吉神社の年表より推察）以前の釣鐘堂は、現在では倉庫として使用されている。

山門は、鐘楼の移築と同じころに地元檀家によって寄進されたもので、左右には運慶快慶像が安置されています。



昭和49年に移築された鐘楼。なぜか屋根の上には「千葉氏の家紋9曜に半月紋」が記されている



左は、子育て水子地藏尊と右は市原観音像

釈蔵院には、「なんじゃもんじゃの木」が植わっています。「なんじゃもんじゃ」とは、見慣れない立派な植物とか、怪木や珍木に対して地元の人々が付けた愛称で、特定の樹木をではありません。

釈蔵院の「なんじゃもんじゃの木」は、本堂に向かって左側の林の手前に「なんじゃもんじゃの木」のいわれを記した看板が立てられています。それによると、この「なんじゃもんじゃの木」は、弘法大師の命名された民話」と書かれており、その内容も書かれています。樹木種としてはシナニキ科の「菩提樹」です。

一般的には「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれている木は、

「ヒトツバタゴ」と言う樹木が代表的ですが、それ以外の樹木でも「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれているものがあります。たとえば、千葉県神崎市には水戸光国公が神崎神社に参拝されたときに、この木を見て「不思議な木じゃが、名前はなんじゃ？」とその村の衆に訪ねたところ、村の衆は誰もその木の名前を知らなかったため「へへー・・・さああ・・・はて、もんじゃ」と答えたことから「なんじゃもんじゃの木」と名がついたと言われていますが、他には「もんじゃ」と答えたのは、神社の神主と言う説があります。ちなみに神崎市の木の種類は「クスノキ」です。

民俗学では、元々は占いや神事に利用されていたもので、植物名を直接呼ぶことをはばかれたものではないかとする説がある。また、国、県、市町村などの天然記念物に指定されているものが多い。

日本全国に「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれている樹木種と所在地の具体例はつぎのとおりです。

| | | |
|----------|------------------|------------|
| ヒトツバタゴ | 東京都（明治神宮・御徒町公園）・ | 岐阜県（白山神社） |
| | 愛知県（知立神社・東雲神社）・ | 滋賀県（沙沙貴神社） |
| | 島根県（松江城） | 長崎県（上対馬町） |
| クロガネモチ | 神奈川県（長光寺） | |
| ホルトノキ | 神奈川県（神武寺） | |
| クスノキ | 千葉県（神崎神社） | |
| マルバチシャニキ | 千葉県（天津天宮） | |
| 菩提樹 | 千葉県（釈蔵院） | |
| タブノキ | 福岡県（古塔塚） | |
| | 愛知県（小牧山） | |

このように「なんじゃもんじゃの木」と言われている樹木は、関東より南地方にある木ですがなぜでしょうか。



釈蔵院の菩提樹の花です



菩提樹の実

菩提樹は、仏教とは非常に縁が深い樹木で、釈迦は菩提樹の下で悟りを開いたと知られておりますが、釈迦の菩提樹は本種ではなく、クワ科の印度菩提樹です。原産地は中国で、日本には臨済宗の開祖栄西が中国より持ち帰ったと伝えられ、各地の仏教寺院によく植えられている樹木です。菩提樹の実は固くお数珠の材料として使われています。

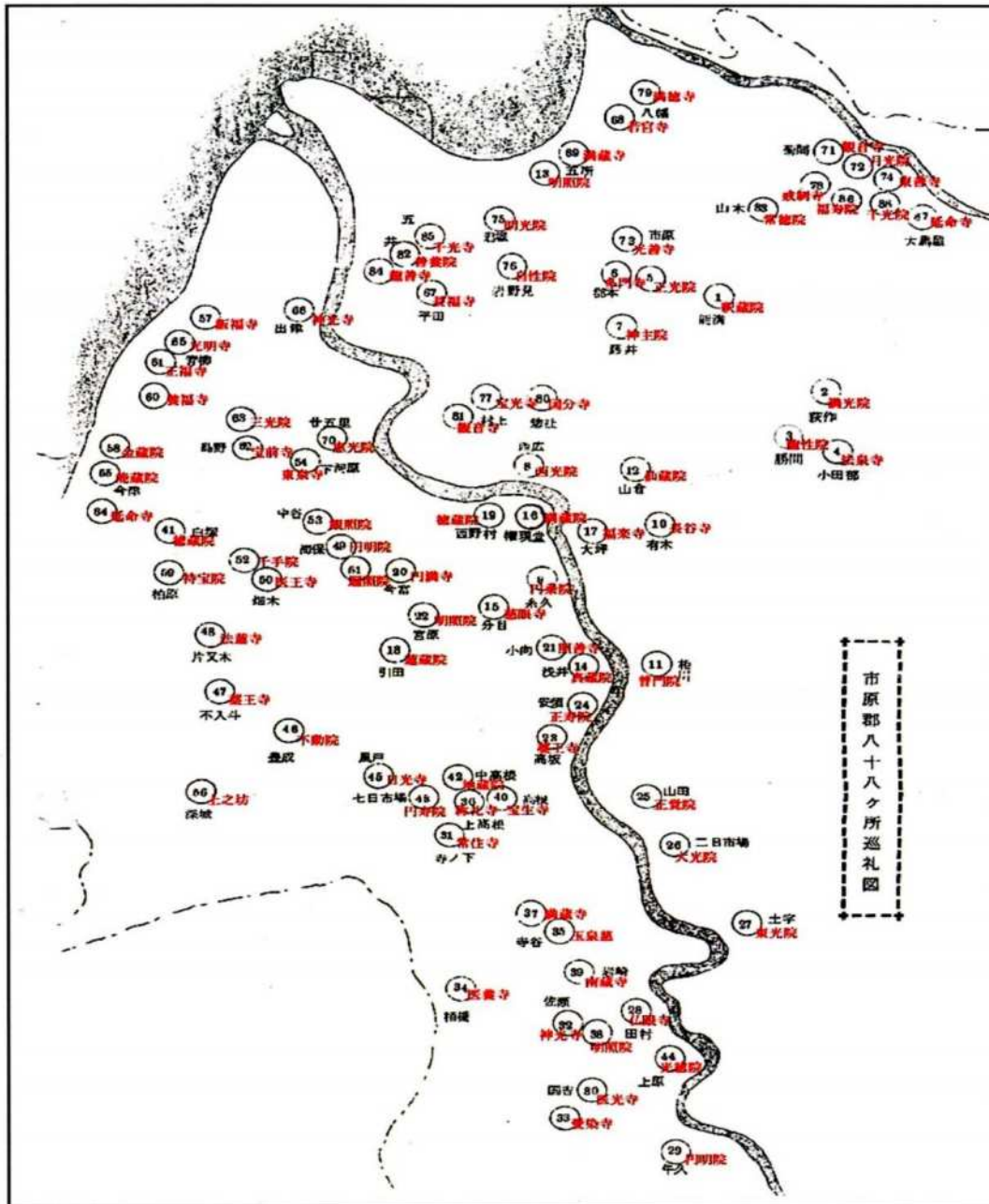
参考資料

市原郡四国八十八か所靈場一覧表

| 巡礼番 | 寺院名 | 住 所 | 移設寺院 | 巡礼番 | 寺院名 | 住 所 | 移設寺院 |
|-------|-----|----------------|------|-------|-----|----------------|------|
| 1 番 | 釈蔵院 | 能満 5 8 2 - 1 | 靈山寺 | 3 9 番 | 南蔵寺 | 岩崎 5 8 8 | 延光寺 |
| 2 番 | 満光寺 | 荻作 2 7 9 | 極楽寺 | 4 0 番 | 宝生寺 | 上高根 5 1 8 | 観自在寺 |
| 3 番 | 龍勝寺 | 勝間 8 8 9 | 金泉寺 | 4 1 番 | 徳蔵院 | 白塚 5 4 9 | 竜光寺 |
| 4 番 | 法泉寺 | 小田部 3 7 5 | 大日寺 | 4 2 番 | 地蔵院 | 中高根 | 仏木寺 |
| 5 番 | 正光寺 | 郡本 3 - 2 5 | 地蔵寺 | 4 3 番 | 円寿院 | 七日市場 | 明石寺 |
| 6 番 | 多門寺 | 郡本 5 - 2 9 | 安楽寺 | 4 4 番 | 光徳院 | 上原 3 6 | 大宝寺 |
| 7 番 | 神主院 | 藤井 | 十楽寺 | 4 5 番 | 日光寺 | 風戸 8 1 | 岩屋寺 |
| 8 番 | 西光院 | 西広 3 - 6 - 2 | 熊谷寺 | 4 6 番 | 不動院 | 豊成 1 5 | 浄瑠璃寺 |
| 9 番 | 円乗寺 | 糸久 3 2 0 | 法林寺 | 4 7 番 | 薬王寺 | 不入斗 6 2 | 八坂寺 |
| 1 0 番 | 長谷寺 | 海土有木 1 6 4 3 | 切幡寺 | 4 8 番 | 法蓮寺 | 片又木 1 6 9 | 西林寺 |
| 1 1 番 | 普門院 | 相川 9 3 | 藤井寺 | 4 9 番 | 円明院 | 海保 | 浄土寺 |
| 1 2 番 | 仙蔵院 | 山倉 1 0 6 8 | 焼山寺 | 5 0 番 | 医王寺 | 畑木 4 1 8 | 繁多寺 |
| 1 3 番 | 明照寺 | 五所 | 大日寺 | 5 1 番 | 偏照院 | 海保 7 6 9 | 石手寺 |
| 1 4 番 | 真蔵院 | 浅井小向 7 6 | 常楽寺 | 5 2 番 | 千手院 | 畑木 | 太山寺 |
| 1 5 番 | 慈眼寺 | 分目 1 9 3 | 国分寺 | 5 3 番 | 観照院 | 中谷 | 円明寺 |
| 1 6 番 | 満蔵院 | 権現堂 2 4 | 井戸寺 | 5 4 番 | 東泉寺 | 廿五里 6 5 - 1 | 延命寺 |
| 1 7 番 | 福楽寺 | 大坪 3 4 0 | 井戸寺 | 5 5 番 | 能蔵院 | 今津朝山 5 8 4 | 南光坊 |
| 1 8 番 | 蓮蔵院 | 引田 9 4 | 恩山寺 | 5 6 番 | 上之坊 | 深代 5 6 4 | 泰山寺 |
| 1 9 番 | 徳蔵院 | 西野 2 2 3 - 1 | 立江寺 | 5 7 番 | 飯福寺 | 青柳 | 栄福寺 |
| 2 0 番 | 円満寺 | 今富 6 9 2 | 鶴林寺 | 5 8 番 | 金蔵院 | 今津朝山 7 2 4 | 仙遊寺 |
| 2 1 番 | 照善寺 | 浅井小向 4 5 4 | 大竜寺 | 5 9 番 | 持宝院 | 柏原 2 9 1 | 国分寺 |
| 2 2 番 | 明照院 | 宮原 4 5 4 | 平等院 | 6 0 番 | 養福寺 | 青柳 1 - 6 - 1 4 | 横峰寺 |
| 2 3 番 | 薬王寺 | 高坂 2 2 7 | 薬王寺 | 6 1 番 | 正福寺 | 青柳 1 0 0 4 | 香園寺 |
| 2 4 番 | 正寿寺 | 安須 7 4 5 | 最御崎寺 | 6 2 番 | 宝前院 | 島野 1 1 9 6 - 1 | 宝寿寺 |
| 2 5 番 | 正覚院 | 山田 2 9 0 | 津照寺 | 6 3 番 | 三光院 | 島野 | 吉祥寺 |
| 2 6 番 | 大光院 | 二日市場 4 7 5 | 金剛頂寺 | 6 4 番 | 延命寺 | 今津朝山 4 2 4 | 前神寺 |
| 2 7 番 | 東光院 | 土宇 | 神峰寺 | 6 5 番 | 光明寺 | 青柳 1 0 5 2 | 三角寺 |
| 2 8 番 | 仏眼寺 | 馬立 8 9 3 | 大日寺 | 6 6 番 | 神光寺 | 出津 9 3 | 雲辺寺 |
| 2 9 番 | 円明院 | 牛久 9 0 5 | 国分寺 | 6 7 番 | 長福寺 | 平田 1 1 7 8 | 大興寺 |
| 3 0 番 | 医光寺 | 西国吉 1 8 5 | 善楽寺 | 6 8 番 | 若宮寺 | 八幡 | 神恵院 |
| 3 1 番 | 常住寺 | 中高根 1 0 0 6 | 竹林寺 | 6 9 番 | 満蔵寺 | 五所 1 5 3 5 - 1 | 観音寺 |
| 3 2 番 | 神光寺 | 神代 3 1 4 | 禅師峰寺 | 7 0 番 | 恵光院 | 廿五里 7 8 1 | 本山寺 |
| 3 3 番 | 愛染寺 | 西国吉 | 雪蹊寺 | 7 1 番 | 観音寺 | 菊間 | 弥谷寺 |
| 3 4 番 | 医養寺 | 栢橋 7 7 5 | 種間寺 | 7 2 番 | 月光院 | 菊間 | 曼荼羅寺 |
| 3 5 番 | 玉泉寺 | 寺谷 1 1 | 清滝寺 | 7 3 番 | 光善寺 | 市原 1 9 6 - 1 | 出釈迦寺 |
| 3 6 番 | 称礼寺 | 上高根 6 4 3 | 青龍寺 | 7 4 番 | 東善寺 | 菊間 | 甲山寺 |
| 3 7 番 | 満蔵寺 | 寺谷 | 岩本寺 | 7 5 番 | 明光院 | 君塚 1 - 2 6 - 3 | 善通寺 |
| 3 8 番 | 明照院 | 佐是 1 0 5 9 - 1 | 金剛福寺 | 7 6 番 | 自性院 | 岩野見 5 0 3 | 鐘倉院 |

| 巡礼番 | 寺院名 | 住 所 | 移設寺院 | 巡礼番 | 寺院名 | 住 所 | 移設寺院 |
|-----|-----|----------|------|-----|-----|-------------|------|
| 77番 | 宝光自 | 村上 | 道隆自 | 83番 | 常德院 | 山木 637 | 一宮寺 |
| 78番 | 戒制寺 | 菊間 2366 | 郷照寺 | 84番 | 龍善院 | 五井 2753 | 屋島寺 |
| 79番 | 満徳寺 | 八幡1086-1 | 高照寺 | 85番 | 千光寺 | 五井中央西 11-12 | 八栗寺 |
| 80番 | 国分寺 | 惣社1-7-23 | 国分寺 | 86番 | 福寿院 | 菊間 2004 | 志度寺 |
| 81番 | 観音寺 | 村上 1384 | 白峰寺 | 87番 | 延命寺 | 大厩 1018 | 長尾寺 |
| 82番 | 善養院 | 五井 5254 | 根香寺 | 88番 | 千光院 | 菊間 2798 | 大窪寺 |

市原郡八十八か所巡礼図



新上総国三十三観音霊場一覧表

| 札 番 | 寺 名 | | 観音像 | 所 在 地 |
|---------|-------|--|-----------|-----------------------------|
| 第 1 番 | 高蔵寺 | | 聖観世音 | 木更津市矢那 1 2 4 5 番地 |
| 第 2 番 | 善雄寺 | | 聖観世音 | 木更津市茅野 6 8 3 番地 1 |
| 第 3 番 | 円明院 | | 琵琶首十一面観世音 | 市原市牛久 9 0 5 番地 |
| 第 4 番 | 空蔵院 | | 如意輪観世音 | 君津市南子安 2 丁目 1 - 3 1 (旧長福寿寺) |
| 第 5 番 | 歓喜寺 | | 聖観世音 | 長生郡睦沢町寺崎 1 9 3 2 番地 |
| 第 6 番 | 玉泉寺 | | 千手観世音 | 長生郡長南町市野々 3 2 0 4 番地 |
| 第 7 番 | 最明寺 | | 聖観世音 | 夷隅郡御宿町須賀 6 6 8 番地 |
| 第 8 番 | 円如寺 | | 十一面観世音 | 君津市小市部 1 2 7 番地 |
| 第 9 番 | 圓明寺 | | 沙羅観世音 | 君津市山本 1 5 3 5 番地 |
| 第 1 0 番 | 長泉寺 | | 聖観世音 | 君津市大井 3 9 番地 |
| 第 1 1 番 | 久原寺 | | 聖観世音 | 君津市西猪原 2 4 3 番地 |
| 第 1 2 番 | 興源寺 | | 千手観世音 | 富津市東大和田 1 2 番地 |
| 第 1 3 番 | 吉祥寺 | | 十一面観世音 | 富津市金谷 2 4 1 3 番地 |
| 第 1 4 番 | 不動院 | | 聖観世音 | 富津市竹岡 3 6 4 番地 |
| 第 1 5 番 | 圓鏡寺 | | 聖観世音 | 富津市八幡 3 5 8 番地 |
| 第 1 6 番 | 像法寺 | | 聖観世音 | 富津市鶴岡 7 1 9 番地 |
| 第 1 7 番 | 寶龍寺 | | 十一面観世音 | 富津市宝竜寺 4 5 4 番地 |
| 第 1 8 番 | 岩富寺 | | 千手観世音 | 富津市亀沢 1 3 5 番地 |
| 第 1 9 番 | 最勝福寺 | | 如意輪観世音 | 君津市新御堂 6 9 番地 |
| 第 2 0 番 | 正法院 | | 聖観世音 | 富津市西大和田 6 4 7 番地 |
| 第 2 1 番 | 萬福寺 | | 聖観世音 | 富津市篠部 9 3 7 番地 |
| 第 2 2 番 | 醫光寺 | | 千手観世音 | 富津市富津 1 8 0 0 番地 |
| 第 2 3 番 | 東福寺 | | 千手観世音 | 富津市富津 7 5 番地 |
| 第 2 4 番 | 自在寺 | | 十一面観世音 | 木更津市東太田 2 丁目 9 - 2 5 |
| 第 2 5 番 | 新宿不動尊 | | 聖観世音 | 木更津市新宿 1 2 番地 1 5 |
| 第 2 6 番 | 金勝寺 | | 十一面観世音 | 木更津市万石 1 7 6 番地 1 |
| 第 2 7 番 | 飯富寺 | | 十一面観世音 | 袖ヶ浦市飯富 2 5 8 6 番地 |
| 第 2 8 番 | 学道寺 | | 十一面観世音 | 市原市海保 7 6 9 番地 |
| 第 2 9 番 | 長谷寺 | | 十一面観世音 | 市原市海士有木 1 6 4 3 番地 |
| 第 3 0 番 | 信隆寺 | | 聖観世音 | 市原市諏訪 1 丁目 7 - 1 1 |
| 第 3 1 番 | 傳燈寺 | | 聖観世音 | 市原市能満 5 8 2 番地 1 |
| 第 3 2 番 | 不動院 | | 十一面観世音 | 山武市成東 2 5 5 1 番地 |
| 第 3 3 番 | 観音教寺 | | 十一面観世音 | 山武市芝山町芝山 2 9 8 番地 |
| | | | | |